三線の花（２０２０）

本調子

1/2

工 老四上 尺五工 上老四 合中上 合六五 合六工 合六五六五

工 老四上 尺五工 上老四 合中上 合六五 合六工 合 工 合

いつしかわすれられた　おじーのかたみのさんしん

中 合 尺 中 上 老四上 尺工中 合 尺 合 工 六 五 工上

とこのまで　たんじょういわいの　しまざけにもたれて

中 合 尺 合 上 合 中 合 中 合 尺 ○ 尺 尺工

ほこりをゆび　でなでて　ゆるんだいとをまけば

中 合 尺 中 上 老四上 尺工中 合 尺 合 工 六 五 工上

たいくつで　たまらなかった　しまうたが　ひびいた　あざ

中 合 尺 合 上 合 中 合 工 合 工 合 五 合 五 上尺

やかに　よみがえる　あなたと　すごしたひびは　やわ

工 合工尺工五尺工 六 五 工尺中 合中上中上 老 六 五 上尺

らかな　いとしさで　このむ　ねを　つきや　ぶり　さい

工 工 尺工五六六 合七六 工尺中 合工五 合五五 合六六 工尺

たの　はさんしんのはな　このそ　らもあのうみも

中 中工五六五 工 合 工 合 上尺工 工工尺工五六六 六七六

なにも　かたりはしない　このし　まにあたたかな

工尺中 合中上中上乙老上○ ○ 上尺工 工工尺工五六六 六七六

☒かぜと　なり　あめを　よび　さいた　のはさんしんのはな

工尺中 合工五 五五五 合六六 工尺中 中工五六五 工 ○ ○

○ 工 老四上 尺五工 上老四 合中上 合六五 合六工 合六五六

三線の花（２０２０）

本調子

五	工	老四上	尺五工	上老四	合中上	合六五	合六工	○	○		
上	尺工	五六	五七	六工上中	工	工	五	工			

一、いつしか忘れられた
オジーの形見の三線
床の間で誕生祝いの島酒にもたれて

ほこりを指でなでて
ゆるんだ糸を巻けば
退屈でたまらなかった島唄が響いた

鮮やかによみがえる
あなたと過ごした日々は
やわらかな愛しさで
この胸を突き破り
咲いたのは三線の花

テレビの斜め向かいの
あなたが居た場所に
座ればアルミの窓から夕月が昇る

家族を眺めながら飲む酒はどんな味
眠りにつく前の唄は誰の唄

喜びも悲しみも
いつの日か唄えるなら
この島の土の中
秋に泣き冬に耐え春に咲く三線の花

この空もあの海も何も語りはしない
この島に暖かな風となり雨呼び
咲いたのは三線の花

秋に泣き冬に耐え　春に咲く
三線の花